

評価活動：自分の状況に合わせて自己評価を発表

定期考査は、声調練習シートにあったことばを用いて自己紹介の口頭試験を行う。事前に練習用に配った自己紹介文のプリントにある文などをそのまま暗唱させるのではなく、生徒毎に自分の状況に合うように発表してもらう。試験後に渡す「評価ルーブリック」(次頁)は、試験前の自己評価、あるいは相互評価にも用いる。自分でチェックをした後、ペアで互いにチェックをし、4人のグループを作り、他の2人にもチェックしてもらう。互いに発音を教え合い、口頭試験に備える。

☞ 口頭試験

Step1 生徒に以下の課題カードを渡す

自己紹介

- ・ 柴島高校の生徒
- ・ 月曜日から金曜日まで授業
- ・ 中国語の先生の名前
- ・ 通学方法
- ・ 阪急電車の駅（梅田、十三、淡路、山田、宝塚）
- ・ 大阪在住年数

質問しましょう

- ・ 神戸と奈良に行ったことがあるか。
- ・ ご両親はお元気ですか。
- ・ おじいさん（父方の）と一緒に住んでいますか。
- ・ お姉さんはいますか。

Step2 生徒はまず自己紹介をする。続いて質問をする。口頭試験の場では ALT が応答する。

Step3 試験後に、事前練習に配った自己紹介のプリントと同じものを発音のチェックをして各生徒に返すとともに、評価票として以下のルーブリックも渡す。

評価ルーブリック

	正しい声調・正しい発音で言うことができる。	なんとか理解される発音で言うことができる。	言おうとしているが、伝わりにくい。	まだ、難しい。
学校名				
月曜日から金曜日まで授業				
先生の名前				
通学方法				
阪急電車の駅名				
大阪在住年数				
神戸と奈良				
ご両親はお元気ですか。				
おじいさんと住んでいますか。				
お姉さんはいますか。				

特に注意すべき発音

柴島 (Chái_{ái}dǎo)、神戸 (Shén_hù): 第二声 (Chái) (hù)

※この欄は、試験の練習として相互評価をする時、評価をする生徒から見て注意すべき点を書き込む。